

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和5年 1月15日 NO.66

発行責任者：橋迫芳隆



神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>



迎春

令和五年癸卯に因んで

新たに大きな一歩を踏み出し飛躍する年

令和5年の元旦は、年の瀬の雪が解け、穏やかな晴天で明けました。

今年の干支は、癸卯（みずのと）で60の中の40番目です。

「葵（き）は十干の第十にして、五行は水性の陰。

「葵」は大地を潤す恵みの雨や露を表す。水は生命の維持に不可欠で、どんなところへも順応する。

故に、母性愛、純粹、また内向的で地味でもある。

「揆（はかる）に通じ、植物の内部にできた種子が大きさを測れるまで大きくなった状態を指す。

卯（う）は十二支の4番目で陰。五行は木、月は旧2月。方位は東。

「卯」は植物では「茂」で草木が地面を蔽う（おお）う状態を指す。

また動物では「兎（うさぎ）をあて、大人しく穏やかで「安全」、跳躍力が高く「飛躍」「向上」を期する。

「葵」と「卯」は、五行で「水生木」で「相生」の関係となる。

以上をまとめると、「癸卯」は、「寅」で芽吹き始め、「辰」で草木の形が整う中間の年であり、物事に動ぜず確

実に一歩を踏み出せば大きな飛躍と向上が期待され、新しい成長の礎となる年のイメージとなる。

その意味で「新たに大きな一歩を踏み出し飛躍する年」としたい。

だが、「兎を得て蹄（わな）を忘る」の如く、目的を達したことで有頂天になり、我を忘れてはいけません。（日本時事評論）

長期政権がかかった岸田首相。

「聞く力」を発揮した決断も後手後手と批判され、念願の防衛3法案も肝心の財源で財務省にまわしを取られ増税路線一直線。相続税に年金、高齢者・介護保険、インボイス制度と目に見えない財務省手腕。

知らぬ間にTSMCや上海電力の日本進出、東京都の住民監査請求受領事案は何を物語るか。ステルス侵略とはよく言ったものだ。

岸田政権の命運を握る春の統一地方選挙とG7広島サミット。

グローバル路線による失われた30年の原因となったデフレギャップをいち早く克服し、日本を成長路線に乗せる力ギは何処に。岸田首相の胆力に期待します。

なにがどうなる

12月定例会条例改正など

おもなもの

<地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の制定>

○町職員の定年の引き上げ条例の一部改正に伴う条例改正を行うもの

- ・定年引上げ・・・段階的に60歳から65歳に引き上げる。⇒2年で1歳引き上げ
(令和13年で完、それまでは、65歳まで務めるものは再任用・暫定再任用とする)
- ・60歳から定年年齢までの月額給与の引き下げ・・・70%に
- ・役職定年制の導入
- ・高齢者部分休業制度の導入
- ※など定年年齢引き上げに伴い関係職員の勤務・各種特例や退職手当の算定方法など、本町での措置について決めました。

<町営バス料金条例の一部改正>

○利用者減少による収益性の低下により財政負担が増加しており、運行距離などを考慮した料金に改正。

経済的経費1900万円ー運賃収入220万円=▲1680万円(約90%の町負担)

※なお、この料金改正により油木高校への通学利用に於ける経済的負担増に対する支援は教育委員会に置いて別途検討する事となりました。

※ 改正の概要 1乗車300円(現行)⇒1乗車500円(新料金)

<人事案件>

※神石高原町農業委員会委員の選任同意(14名) 任期…令和4年12月19日から3年間

※神石高原町固定資産評価審査委員会委員の任命同意(2名) 任期…令和4年12月23日から3年間

<町常勤特別職の給与及び旅費特例の制定>

○職員の不祥事により、町民の信頼を著しく損ねた責任の一端を表し、

*町長及び副町長の給与の減額措置を講じるため制定。

お名前はコチラ



・令和5年1月1日から31日までの1月期間、町長の給与月額を30%、副町長の給与月額を20%減額する。

<契約の変更>

	変更後	変更前
工事名	放課後児童クラブ施設改修整備事業 旧くるみ保育所改修工事	同左
請負金額	61,481,200円	57,690,000円
請負者	宮田建設株式会社(東城町)	同左

* 内部補修・改修場所追加、ネットフェンスの設置追加

	変更後	変更前
工事名	高蓋地区簡易水道・水道管敷設替工事	同左
請負金額	96,123,500円	95,150,000円
請負者	広瀬建設株式会社	同左

* 排水管の敷設延長

	変更後	変更前
工事名	天田橋橋梁補修工事(上豊松)	同左
請負金額	68,374,900円	49,500,000円
請負者	横山建設株式会社	同左

* 複数年予定工事を、新技術の採用で補修工事を本年度に全てを実施する

<町児童総合施設設置管理条例の制定>

○旧くるみ保育所の改修工事が完了後、新たに「来見児童総合施設」として設置します。

<財産の取得>

財産の表示	(所在)神石高原町立病院(小島) (種別)医療機器及び備品 (細目)内視鏡システム一式
取得価格	25,190,000円
相手方	住所 福山市吉津町12番5号 氏名 株式会社 ミヤノメディックス

* 指名競争入札(15社)

* 落札率 99.6%

* 納期 完了R5.3.24

令和4年12月一般会計補正予算

(単位:万円)四捨五入

12月補正予算

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	▲9	7906	職員人件費
総務費	4億9771	30億2541	かがやきネット600、庁舎管理660、旧井関小学校解体2億1750、ふるさと納税事務経費2970、ふるさと納税NPO支援交付4億1850
民生費	2989	21億9071	社会福祉費過年度国・県返還経費1128、障害者介護給付費641、油木・豊松保育所委託料1000
衛生費	▲265	16億6243	出産・育児支援等478、病院事業会計補助▲1680、クリーンセンター神石390、し尿処理場330
農林水産費	523	8億5680	182ステーショントイレ改修・充電器設置497、牛舎新築・改修320
商工費	2034	3億1900	法人・商工業者・認定農業者等燃料価格高騰支援2061、
土木費	1473	8億6383	町道維持1000、町道整備200、河川維持300
消防費	2847	4億3793	非常備消防退団報奨金2814
教育費	959	9億5359	児童生徒送迎備品購入▲203、小学校校舎施設管理485、中学校校舎管理334、共同調理場管理運営228
災害復旧費	650	5億2121	現年発生農地農業施設災害復旧450、現年発生道路橋梁災害復旧200
公債費	0	14億3326	
諸支出金	100	3億6158	かがやきネット管理運営基金積立100
予備費	0	4000	
合計	6億1072	127億4481	<歳入> 国庫支出金5856、県支出金2255、地方譲与税1283、財産収入100、寄付金5億5501、繰入金813、諸収入248、町債▲240

○老朽化した旧井関小学校の解体
*S30年度建築(築67年)
⇒跡地の有効活用を図る R5解体

○ふるさと納税事務経費
*財源は⇒ふるさと応援寄付金

○NPO法人支援交付金
⇒ふるさと納税寄付額の93%

○油木・豊松保育所委託料は、
*物価高騰対策と保育士処遇改善

○出産・育児支援対策は、国の閣議決定(11・9)を受け予算化するもの
*出産応援ギフト5万円/妊婦1人
*子育て応援ギフト5万/子供1人
=1人出生で10万円

○182ステーション 497万円は
トイレ改修工事は1254万円で急速充電設備工事790万円を次年度繰り越し▲790万円を減額補正

○畜産振興施設整備事業
*牛舎新築改修の交付先
⇒じんせき高原牧場株式会社
(新築1棟、改築1棟)

令和4年度予算会計別総括表

単位:万円(四捨五入)

会計名	令和4年度		摘要
	12月補正	12月補正後予算	
一般会計	6億1071	127億4481	
特別会計	1941	41億1003	
病院事業会計	▲1261	6億2364	施設整備備品購入▲1880
合計	6億1751	174億7847	
特別会計+病院事業会計		47億2687	

*飲料水供給施設会計
・一般管理・施設維持
264万円

*簡易水道特別会計
・管理委託・高熱水費
784万円

*農業集落排水特別会計
・維持管理・測量委託
582万円

*国民健康保険特別会計
・出産一時金・財調積立
198万円

*介護保険特別会計
・人件費
▲199万円

VI 12月補正予算額(コロナ対策) R4. 12. 7可決

(単位:万円)

区分	補正前の額	12月補正額	12月補正の内 コロナ対策分	補正後の額
一般会計	121億3409.6	6億1071.1	2118.2	127億4480.7
合計	121億3409.6	6億1071.1	2118.2	127億4480.7



R4.11. 21 「くまもん」
全国過疎問題シンポジウム 2022in くまもと

※令和4年度のコロナ関連予算充
当額は、総計で、2億8167,5万
円となりました。

補助上限額 法人50万円、個
人事業者20万円)
予算額:2,062万円

援します。
灯油、ガス、電気)の20%以内を支
援します。

町内に事業所を有する法人商工
業者、青色申告農林業経営者な
ど、R4.4.1~R4.12.31までの間
に事業用として5万円以上購入し
た燃料などガソリン、重油、軽油、

新型コロナ交付金
燃料など高騰対策に支援

一般質問

【有害鳥獣対策の現状と今後の方針について】

有害鳥獣対策については、本町では令和2年度に「神石高原町鳥獣被害防止計画」を計画作成され被害防止対策に取り組まれています。

国の被害防止対策に於ける特別措置に関する規定に基づいて計画されたものであり、防止計画は令和2年度作成、目標年度は令和4年度となっています。

本年度は最終目標年度となっていますが、この計画実施において進捗状況（現状把握）と確認される成果、また新たに考えられる課題があればお伺いしたい。

特に、

- ①対象鳥獣の捕獲体制についての現状と課題
- ②対象鳥獣の捕獲方法や捕獲後の処理
- ③捕獲した対象鳥獣の食品としての利用等その他の有効利用については継続検討課題となっているが現在の取り組み状況と課題
- ④合わせて、次年度（令和5年度）以降、新たな取り組み方針が有るか、あれば具体的にお伺いしたい。



Q 町鳥獣被害防止計画に於いて確認される成果と課題は。

A 町長 捕獲実績は計画を上回るが、被害状況は目標に達していない。

Q 対象鳥獣の捕獲体制の現状と課題は。

A 町長 現在の捕獲隊人数は151名、第1・2種免許保持者139名、わな免許保持者139名で編成している。

隊員の高齢化と捕獲頭数の多いイノシシなどの処理負担が課題だ。

Q 対象鳥獣の捕獲方法や捕獲後の処理は。

A 町長 「銃器」、「罠いび」、「箱わな」、「くくりわな」により捕獲されている。「箱わな」の捕

獲量が最も多い。

埋設処理が多く、三和地区の一部ではジビエ肉の加工が行われている。

Q 継続課題となっている食品など有効利用における取組と課題は。

A 町長 本町において民間のジビエ加工処理業者が開業準備中だ。施設搬入や業者引き取りで処理負担の軽減を図りたい。

国の奨励金の活用で搬入数量を確保するなど捕獲実施隊や関係機関と連携し取り組む。

Q 令和5年度以降の具体的な取り組み方針は。

A 町長 捕獲後の処理負担軽減のため、民間事業者による「ジビエ加工処理施設」の経営安定

のための支援、捕獲個体の確保・搬入促進のための働きかけ、

国の報奨金を活用した捕獲活動の活性化を図る。

基本的な捕獲活動とともに、サルやシカ対策も含めた「箱わな」、「罠いび」の導入を進める。

新たな取り組みとして、捕獲後の「止め刺し」負担の軽減を図る方策を検討したい。

Q 高齢化対策として若い壮健な捕獲隊員の確保が必要だ。そのためには捕獲収入の増加対策も重要だ。国の捕獲奨励金はどうしているのか。

A 豊田産業課長 国の捕獲奨励金は7千円で更にジビエ活用

で2千円加算となる。

今年から現存のジビエ加工団体及び準備中の民間ジビエ加工事業者の営業開始に伴い搬入者には国の捕獲奨励金を活用する。

Q 民間ジビエ事業者の経営安定化のための支援内容は。

A 豊田産業課長 本年度補助事業として搬送用の冷凍車を2台、肉の保存用に冷蔵庫を1台を支援している。また必要な個体数の確保対策を実施する。

Q 捕獲後の「止め刺し」負担の軽減を図ると有るが内容は。

A 豊田産業課長 電気式の止め刺し導入を検討している。

Q 令和5年度への取り組みとして以下お願いしたい。
○課題として挙げた各部分の充実。
・捕獲隊の充実。・4捕獲班と自治会を含めた広域連携体制の構築。・捕獲体制の再構築。
○一連のマニュアルの作成。
○ジビエ肉、ペットフードに次ぐ肥料化への取り組み。
○以上の解決のため専門の担当員を担当課への配置。

A 町長 捕獲隊の活躍で捕獲は進んでいる。連携していると思っている。

提案分も担当課を中心に効果検討も含め考えて行きたい。

担当専門員は地域おこし協力隊を1名採用している。そこで業務を担って行きたい。

Q 「止め刺し」に着眼されたことは一歩も二歩も前進した。ここからマニュアルの作成など多面的に大きな取り組みとなると思う。

町長、担当課の意気込みに掛かっている。

有害鳥獣対策のモデル地区になるよう健闘を願います。